

## 「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

## ＜本年度の学力向上基本方針＞

- 基礎学力の向上と充実
- 生徒が主体的に取り組む授業づくり
- 家庭学習の習慣化

## ＜本年度の学力向上策＞

- 1 授業規律の確立  
(1) 5分前行動、2分前着席。授業をチャイムで終わりにする。
- 2 生徒が主体となる授業づくり  
(1) 各教科における授業開始時に「学習のポイント」を明確にする。  
(2) 学習課題の提示を明確にし、各活動を生徒が主体的にできるようにする。
- 3 全国学力・学習状況調査とさいたま市学習状況調査の結果の分析と活用  
(1) 全国及びさいたま市学習状況調査からの各教科の成果と課題を把握する。  
(2) 質問紙調査の生活習慣に関する回答状況の分析を行い、学校生活に生かす。  
(3) 学力向上カウンセリング学校訪問を校内研修時に活用し、分析結果を各教科、各学年に生かしていく。
- 4 家庭学習などの学習環境の整備  
(1) 「1Pノート」を活用した家庭学習の充実を図る。  
(2) 土曜チャレンジスクールの充実を図る。  
(3) 長期休業中の補習により、基礎、基本の定着を図る。
- 5 基礎学力の定着を目指した学習指導の工夫・改善  
授業の中で、基礎学力を定着させる場面を多く取り入れ、繰り返し学ばせることにより、より学習効果上がるように工夫をし、改善を図る。

## ＜本年度の振り返り＞

- 1 授業規律に関しては、5分前行動、2分前着席を常に意識し、教師、生徒ともに呼びかけを行ったが、授業の準備への意識を更に高めていきたい。
- 2 「学習のポイント」を授業の初めに明確に示し、授業を行うことができた。
- 3 学力向上カウンセリング学校訪問で示された分析結果を各教科で生かすことができた。
- 4 「1Pノート」を行うことが少しずつ習慣化してきており、生徒によってはかなり充実した学習効果をあげることができるようになった。今後はさらに充実するよう、具体的な取り組み方法を例示したり、授業の復習に活用するよう指示する。土曜チャレンジスクールによるマン・ツー・マンの指導によって、定期テスト等に成果が表れた生徒がいた。
- 5 国語・数学・理科などで基礎的な問題を行う場面を可能な限り取り入れ、繰り返し復習する時間を設けた。